



小郡市立小郡中学校 令和6年8月6日

小郡中学校だより 第214号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

私たちができることは？ 私たちの使命は？



ヒロシマは8月6日そしてナガサキは9日、被爆から79年となる「原爆の日」を迎えます。
 8月6日は、数多くの原爆死没者を偲び、また、戦争や原爆の恐ろしさと悲しさを伝えていくため、広島市中区の平和記念公園で平和記念式典が行われています。その式典では、広島市内の小学6年生を対象とした「こどもピースサミット（平和についての作文募集や意見交換会など広島市主催のイベント）」で選ばれた2人が代表となり、毎年、とても印象に残る心に響く『平和への誓い』を朗読してくれます。被爆者の気持ちや平和への願い、未来への希望が詰まった『平和への誓い』…今号では、昨年の『平和への誓い』を紹介します。

平和への誓い

令和5年（2023年）8月6日

みなさんにとって「平和」とは何ですか。

争いや戦争がないこと。

差別をせず、違いを認め合うこと。

悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

身近なところにも、たくさんの平和があります。

昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。

皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。

子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて」と、叫び続ける母親。

たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか」

仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、

生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年が経ちました。

今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとう」

命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

友だちのよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。

被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。

身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。

誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。



1月31日 修学旅行(平和集会)

被爆79年を迎え、全国の被爆者の平均年齢は85.58歳(今年3月末時点)、高齢化は進み、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさなど、ヒロシマ・ナガサキの事実や真実を生(なま)の声(こゑ)で聞くことができる機会(きかい)は確実に(かくじつ)少(すく)なくなります。そのような現実(げんじつ)、また、世界(せかい)では約40の戦争(せん争)や武力(ぶりき)紛争(ぶん争)が進行(しんこう)している現在(げんざい)、私(わたし)たちができること(こと)は何か(なに)、私(わたし)たちの使命(しめい)は何か(なに)を考(かん)えること(こと)が大切(たいせつ)ではない(ではない)でしょうか。 「平和(へい)・人権(じんけん)・いのち」の大切(たいせつ)さを考(かん)える8月(はち)6日(にち)そして9日(にち)を「特別な日(とくべつな日)」には(は)しては(は)いけない(いけない)のは確(たし)かです(す)ね。

〈オゴ中生徒の活躍〉各種大会の結果

中体連筑後地区大会、福岡県大会、九州大会が開催(かいさい)され、出場(しゅつじょう)した生徒(せいと)のみなさんは最高(さいこう)のプレー(ぷれー)をして(して)くれました。全力(ぜんりき)を出し切り(だ)し、満足(まんぞく)できる試合(しあい)ができた(できた)人も、ミス(みす)が重なり(かさ)悔(く)いを残(のこ)して試合(しあい)を終(お)えた人(ひと)もいる(います)でしょう。しかし、その貴重(きんじゆう)な体験(たいけん)は、これからの人生(じんせい)の肥(けい)やしとなる(なる)はず(はず)だと信(しん)じます。みなさん(みなさん)のがんばり(がんばり)に敬意(けいぎ)を表(あらわ)します。また、吹奏楽部(すいそうがくぶ)は、地区吹奏楽コンクール(ちくく吹奏楽コンクール)と福岡吹奏楽コンクール(ふくおか吹奏楽コンクール)で、堂々(どうどう)としたすばらしい演奏(えんそう)を披露(ひひ)し、見事金賞(みごときんしょう)を獲(と)得(とく)しました。県大会(けんたいかい)への推薦(すいせん)は(は)いただけ(いただけ)ませんでしたが、吹奏楽部(すいそうがくぶ)のみなさん(みなさん)はコンクール(コンクール)に向けて(むか)暑い中(あつなか)、毎日(まいにち)よく練習(れんしゅう)している姿(すがた)が(が)あり(あり)ました。本当(ほんとう)によく(よく)がんばり(がんばり)ました。心(こゝろ)のこもった演奏(えんそう)、そして、感動(かんとく)を(を)あり(あり)がとう(とう)。酷暑(こくしよ)の中(なか)、たくさん(たくさん)の保護者(ほごしや)の方(かた)々に(に)応援(おうえん)に(に)きて(きて)いた(いた)だき(だき)ました。保護者(ほごしや)のみなさま(みなさま)の応援(おうえん)は(は)子ども(こども)たちの大(お)きな支(さ)え(え)となり(なり)ました。ご声援(ごせいえん)、誠(まこと)に(に)あり(あり)がとう(とう)ござ(ござ)い(い)ました(ました)。



ソフトテニス男子
(地区大会)



サッカー
(地区大会)



ソフトボール
(地区大会)



バレーボール
(地区大会)



軟式野球
(地区大会)



水泳
(九州大会)



卓球男子
(県大会)



卓球女子
(地区大会)



剣道
(地区大会)



柔道
(地区大会)



体操
(県大会)

筑後地区中学校総合体育大会結果

部活動名	本校の成績
ソフトテニス男	【団体】惜敗 【個人】惜敗
サッカー	惜敗
ソフトボール	惜敗
バレーボール男	惜敗
バレーボール女	惜敗
卓球男	【団体】5位
	【個人】3位
	惜敗
	惜敗
卓球女	【団体】惜敗
剣道	【女子個人】惜敗
柔道	【男子個人】惜敗
軟式野球	惜敗
水泳	女子50m自由 1位
	男子50m自由 惜敗
	女子100m自由 3位
	男子100m自由 惜敗
	男子100m平泳 惜敗
	男子200m平泳 惜敗
	女子100m背泳 2位
	女子200m個メ 1位

福岡県中学校総合体育大会結果

部活動名	本校の成績
卓球男	【団体】惜敗
	【個人】惜敗
体操	【個人】32位
	37位
水泳	女子50m自由 1位
	女子100m自由 6位
	女子100m背泳 8位
	女子200m個メ 1位

九州中学校総合体育大会結果

部活動名	本校の成績
水泳	女子50m自由 1位
	女子200m個メ 5位



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

『一粒の米』の教えを大切に…「継続は力なり」

今日から 二学期

長い夏休みが終わりました。この夏休みは、とても暑い毎日でしたが、充実した夏休みになりましたか。自分を鍛えることができましたか。2学期は文化発表会はもちろん、さまざまな場面で一人ひとりの生徒が活躍し、「自分を伸ばす、友と伸びる」2学期にしてほしいと願っています。

今号では、生徒のみなさんが、気持ち新たに2学期を迎えるにあたって、江戸中期の儒学者である新井白石が少年の頃、勉強をサボって父親に諭された話を紹介します。

新井白石は、江戸時代の学者で、特に六代将軍徳川家宣を助けて幕府の政治を動かす大きな仕事をした人です。しかし、この白石も子どものときから優れていたわけではなく、朝から晩まで遊びに夢中で、あまり勉強をしませんでした。そんな白石を見て、父親がこんな話(↓)をして諭しました。



今日ぐらいはと手抜きを続けていると、「あっ」と思ったときには、もう取り返しがつきません。これが『一粒の米』の教えです。この話は何にでも通じます。部活でも一回ぐらいの手抜き練習ではそう実力が落ちることはないでしょう。しかし、何回か手抜きした練習を続ければ確実に力は落ちます。逆に未熟でも真剣に練習にとりくみ、旺盛な気構えで練習を続ければ必ず上達していくものです。勉強も同じです。すぐに結果は出ませんが、毎日、毎日、少しずつでも努力を続けると、必ずよい結果につながります。自分の実力は自分でつけるしかありません。自分が苦労するしかありません。

「わからぬいけれども、これを一年ぐらいとつているとやっぱり米は減つたなとわかるだらう。勉強も一日ぐらいサボつたつて急に力が下がるわけでもないし、大丈夫だ。しかし、ずっとサボるのを続けていると、ある日ふと何か自分がダメになつたなと気づくものだ。」

(昔はどの家庭にもお米をいれたる米びつがあつた) 白石の父親は米びつをもつてこさせ、中から米を一粒とつた。白石にどこが減つたのかと尋ねる。 わからぬい…。

また一粒とる。さらに一粒。とつてもとつてもどこをとつたのか全くわからない。米は減らない。そのとき父親は言う。



2学期は、1年で最も長い学期です。みなさんの心の持ちよう、すばらしく成長できる学期となるはず。学校生活のあらゆる場面でこの『一粒の米』の教えを実行していきたいものです。まさしく、「継続は力なり」です。

心理的に安全だと感じる環境づくりに全力を注ごう!

〇互いのことを「知る」対話をしよう

- 【人によって態度を変えない】
【聞くときの態度を気遣う(聞き上手)になる】

〇チームワークを大切にしよう

- 【自分のやるべきことをこなし、周りの人のフォローもできる人に】
【相手を傷つける発言や行動は許されない】
【ミスした人を叱責するのではなく、気遣う声かけをする】

〇相手を否定する発言をしない

- 【相手の話をよく聞き、その人の価値観を受け入れ、前向きな意見を伝える】

【生徒のみなさんへ…再度確認を!】

始業式で伝えましたが、生徒のみなさん一

人ひとりが成長するには、その土台となる『心理的に安全だと感じる環境』が大切になってきます。教室にも掲示していますので、再度確認してほしいと思っています。

中体連筑後地区新人水泳競技大会結果

8月8日(木)にうきは市・小郡市三井郡(ブロック)新人水泳大会(選考会)、8月22日(木)には筑後地区新人水泳大会が開催され、本校から2名の生徒が出場し、大いに健闘してくれました。地区新人大会の結果は、右表のとおりです。

8月31日(土)には、福岡県立総合プールで福岡県新人水泳大会が行われます。健闘を祈っています。

筑後地区新人水泳大会結果		
令和6年8月22日(木) 筑後広域公園プール		
男子100m平泳	惜敗	
男子200m平泳	5位	<県大会出場>
女子100m背泳	1位	<県大会出場>
女子200m個メ	1位	<県大会出場>



筑後地区新人水泳大会

小郡市・大刀洗町小・中学生英語スピーチ交流大会が開催されました

8月8日(木)に小・中学生英語スピーチ交流大会が、小郡市文化会館大ホールで開催され、小郡市・大刀洗町の中学校からは56名の生徒、小学校からは40名の児童が参加(当日の欠席者も含む)しました。本校からは11名(右表)が出場しましたが、ステージ上で発表した生徒のみなさんは、ただ覚えた英語を発表するだけでなく、内容が伝わるようにと表情豊かに堂々と発表する姿にとっても感心しました。特に、3年のさんは発表者全体で1位というすばらしい成績を残しました。さんは11月9日(土)に開催される北筑後中学生英語スピーチコンテストに出場します。がんばってください。

本校の英語スピーチ交流大会出場者

学年 Grade	発表者名	学年 Grade	発表者名
1		2	
1		2	
1		2	
1		3	
1		3	
2			



さん

生徒会夏季リーダー研修会…文化発表会の成功に向けて動きはじめています

8月7日(水)に生徒会拡大執行部は夏季リーダー研修会を実施し、1学期の活動の振り返りや文化発表会スローガンの検討など、文化発表会に向けての計画の作成等を行いました。文化発表会の成功に向けての見通しをもち、計画的にとりくみをすすめてもらいたいと思っています。

ちょっと難しい言葉ですが、文化発表会は、『スクールアイデンティティー=私たちの小郡中学校はこんな学校です!』というのを力強く示す日であろうと思います。つまり、この小郡中学校がいかに魅力ある存在であるかを証明し、また互いに感じ合っしてほしいと思っています。

「やり遂げた」「心がひとつになった」という達成感や満足感は、人にやらされていても得られません。最高の喜びや感動は、一人ひとりのとりくむ姿勢(自分から動く、やるぞ!という気持ち)こそが鍵となるということです。この文化発表会が、本校の新たな文化の創造につながることを心から期待しています。



生徒会夏季リーダー研の様子